

あすかのゆ  
1.道後温泉別館 飛鳥乃湯泉

- 住/松山市道後湯之町19-22
- 問/089-932-1126
- 営/6:00~23:00 ※コースにより異なる
- 料/コースにより異なる
- 休/12月に1日、休館あり
- P/道後温泉駐車場100台
- (利用者は1時間無料、以降30分100円)



3.椿の湯

椿をシンボルとした松山市民の「親しみの湯」。

- 料/大人450円、小人150円
- 営/6:30~23:00(礼止22:30)
- 利用時間1時間30分以内

4.道後温泉第4分湯場

道後温泉の18本の源泉から汲み上げられた湯は「分湯場」に集まる。第4分湯場では、湯が集まる様子を見学でき、手湯では汲み上げられたばかりの源泉に触れることができる。

- 営/分湯場は9:00~20:00、手湯は24時間利用可

2.道後温泉本館 浴室

- 泉質/アルカリ性単純温泉
- 温度/約42度
- 効能/神経痛、関節痛、冷え症、疲労回復など



5.放生園

道後ハイカラ通りの入口にある小さな憩いの広場。カラクリ時計がシンボルで、その横には足湯もある。

- 住/松山市湯之町
- 問/089-948-6556(松山市観光・国際交流課)
- 営/入園自由。足湯は6:00~23:00。カラクリ時計は8:00~22:00の1時間毎。土日祝及び特別日は30分毎

*While preserving tradition, Dōgo is always taking on new challenges. The new public bath facility Dōgo Onsen Annex Asuka-no-Yu, as well as events that collaborate with the very latest contemporary art from Japan's oldest hot spring, are a continual focus attention.*



常に進化を続ける  
温故知新を体現した道後

伝統を守りながら常に新しいチャレンジを続ける道後。その代表と言えるのが、2014(平成26)年に始まったアートを生かした取り組み「道後オンセナート」。「道後アート」の名で開催され、日本最古の温泉に最先端の現代アートをコラボさせた取り組みが高く評価されました。

また道後温泉本館、椿の湯に加え第3の外湯として、2017(平成29)年にグランドオープンしたのが、道後温泉別館飛鳥乃湯泉。飛鳥時代の聖徳太子との関わりに着目し、飛鳥時代の寺社を思わせる華麗な建物です。中庭には椿の森や湯の川があり、聖徳太子が「寿国」と賞賛した古の道後の雰囲気を作り出しています。また、未だ発見されぬ聖徳太子の文章を刻んだ石碑もあり、湯上りにゆつくりと過ごす人もいます。

道後温泉にある3つの外湯は、いずれも源泉掛け流し。18本の源泉から汲み上げた湯を4カ所ある分湯場に運んで42度に無加水ブレンドしています。この絶妙な湯加減に癒され、元気をチャージしたら、道後界隈の寺社を巡ったり、商店街をそぞろ歩いたり。それぞれの過ごし方で、リフレッシュ。昔も今も、道後はカラダの癒し場であり、ココロを再生させる唯一無二の温泉なのです。